



(切石地区 1月11日) 5、6年生とPTAが「おんべ」の飾り付け

おんべは、何より準備が大変です。12月の支部子供会にあわせて、飾りや竹の準備、松集め等々。当日を迎えるまでに大勢の皆さんの協力がなると成り立ちません。また、おんべをよく知る地区の方のご指導があり、成り立っています。

1月12日(日)切石区  
伝統行事である「おんべ」が開催されました。天候にも恵まれ150名ほどが集まりお餅を焼いて一年間健康に過ごせますよう祈りました。

## コラムかなえ

1月12日(日)切石区  
伝統行事である「おんべ」が開催されました。天候にも恵まれ150名ほどが集まりお餅を焼いて一年間健康に過ごせますよう祈りました。

## CONTENTS

- 地域振興  
役員視察研修、女性フォーラム
- 消防団  
署団合同訓練、出初式
- 健康福祉  
健康講演会、各地区の活動
- 生活安全  
1年の振り返り、冬の啓発活動
- 子どもを育む  
1年間の振り返り、各地区の活動
- 環境衛生  
不法投棄パトロール員を終えて

# 地域振興

## 「東京ふるさと県会 総会」に参加して



副会長  
小木曾 学

令和6年11月17日(日)、新宿サンパーク三平本館(東京都新宿区)において「第32回東京ふるさと県会」の総会が開催され、県地区まちづくり委員会から奥村充由会長をはじめ区長、委員長、市議会議員等19名が参加しました。

冒頭、県会の牧野憲治会長(東県出身)のあいさつの中で「信州飯田ふるさと会連合会」の理事会において連合会の解散が決議されたとの報告がありました。ふるさと出身者の名簿(個人情報)の入手が難しく、世代交代も進まず、やむを得ず解散するとのこと

した。総会後は、県歴史を学ぶ会会長の齋藤憲氏(西県在住)を講師に迎え、「県の歴史について」をテーマに講演会が行われ、会員の方々は、興味深く聞き入っておられました。また、懇親会では、会員の方々から県で過ごした当時の懐かしい思い出などお聞きしました。

牧野会長とは、早稲田大学在学中にグリーククラブ(男声合唱団)の演奏会が、飯田市民館で行われており、当時、小学生だった私も演奏会を聴いたことなどお話しすることができました。今後、県会の皆さんから、県地区に様々な風を運んでいただくことを願ってやみません。



## 「役員視察研修」 中越地震から学んだこと 自主防災会 業務委員長 下平泰彦

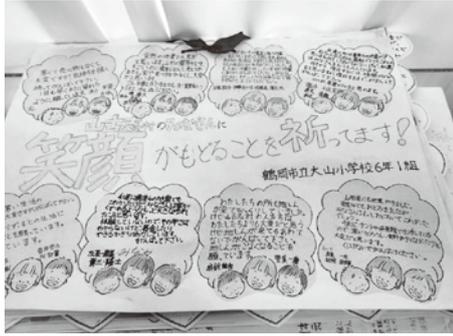
県地区まちづくり委員会では、重点項目である防災をテーマに、昨年の12月7～8日に視察研修を実施しました。訪問先の小千谷市、旧山古志村は平成16年に中越地震で震度6強を経験しています。予想されている南海トラフ地震で当地方も同様の揺れが想定されており、現場における対応を学ぶ研修となりました。

小千谷「そなえ館」では、地震発生時の映像とシミュレーターによる震度7を体験。発生直後から時間経過に伴う事後対応と施設運営等の難しさを改めて考えさせられました。一方、山古志「おらたる館」では、地震発生後の村長による村民全員の一時避難の決断、地震崩落による河川氾濫の危機回避、村の復興への取り組みなど、興味深く聞くことができました。両地区とも「繋がり」によって震災を乗り越えていると思われる、今後、県地区の活動にどのように反映できるか考える機会につながりました。

「繋がり」によって震災を乗り越えていると思われる、今後、県地区の活動にどのように反映できるか考える機会につながりました。



おぢや震災ミュージアム「そなえ館」



やまこし復興交流館「おらたる」

### 鼎地区初「女性フォーラム」を企画して

総務文教部 関口敦子



〔第1部〕テーマごとの分科会

2月9日「鼎地区女性フォーラム」が「女性から見た防災」「子育て」「身近にあるジエンダーギャップ」「地域の支え合い」の4つテーマで開催されました。例年、鼎地区の5団体で組織する婦人団体連絡協議会では、女性の視点からの身近な課題から提案・要望書を作成し、まちづくり委員会の役員との懇談会を行ってきましたが、本年度は、女性が参画しやすい組織づくりを考えようと「女性プロジェクト」が動き出したこともあり、広く多くの女性の意見

を出し合うことができました。私が参加した防災の分科会では、避難所運営への女性の参画や避難訓練の在り方、各自の備えの大切さ等、様々な意見を聞くことができました。女性の参画には依然として多くの課題がありますが、こうした企画を続けることが、皆でつながり、支い合える地区に、一歩一歩近づいていくのではないかと、企画をして強く感じました。



〔第2部〕事例発表

を聞こうと、誰でも参加できる形を取り、「お食事処・夢」で、開催することができました。

当日は、20代から80代の男女41名が参加し、年代を超えて、全参加者が気軽に意見を

### 鼎地区初「女性フォーラム」に参加して

近藤綾美

今回初開催となる女性フォーラムの子育て分科会に、参加させていただきました。子育てに関して、家庭内における女性の役割は大きい一方で、女性の声を地域や社会へ届ける機会はまだ無かったため、今回参加できるのをとても楽しみにしていました。

実際に参加してみると、小中学校の正副PTA会長さんが多く集まり、子育ての現状や悩みを気楽に話し合い、意見交換できる場所でした。また、子育てに留まらず、家庭を持つ女性が社会活動に参加するために必要な環境や、地域ぐるみで活動するために大切な事等も改めて考えることができ、今まで個人で考え抱えていた問題を共有する良い機会になりました。このような活動から、女性の声が社会に届き形になることで、女性の社会参画への意識も変わり、より良い社会になっていくのではないかと、期待をしているところです。



### 鼎地区パワースタッフ事業 採択団体等の紹介

#### 「一色竹宵の会」

会長 櫻井勝司

令和6年大晦日の夜、満天の星の光が降り注ぐ先は、氏子総代の手になる注連縄が張られた一色諏訪神社の境内。合図花火の音を待たずして、縁を求めてひとり、ふたりと参拝客が列をなす。笑顔で新年を祝い縁起物を求め、屋台へ足を運ぶ姿がある。「神社の二年参りに訪れる方々の足元を竹灯籠で灯し、地域の平穏を祈りたい」。連続16回目となる「除夜の竹宵」が無事行われました。鼎一色区の事業計画には、「活力ある区民参加のまちづくりを目指す」四季を通じた次の事業を列挙。「獅子舞奉納」「区民夏祭り」「秋祭り」「除夜の竹宵」です。さて事業の概要は、放置竹林の整備と手作りの竹灯籠を参道約40mに配置するもの。今回は90本の灯籠と45本のミニ灯籠を準備しました。お獅子や花火等の親しみある図柄を表面に施し、長時間点灯しロウソクの明かりに匹敵するLED照明を用いるなど創意工夫を加えました。元日、皆様と初日の出を仰ぎ清々しい気持ちになりました。関係団体の皆様とは、作業を通じた交流ができ、擲を次に託す実感が持てました。改めて紙上にて感謝をいたします。



# 消防

## 署団合同訓練

12月13日(金)の夜に飯田広域消防本部にて署団合同訓練を行いました。

この訓練は消防署からレクチャーを受けつつ火災や地震等の災害時における知識を学ぶもので、今回は災害図上訓練(DIG)、応急救護訓練、瓦礫からの救助訓練を行いました。

これらの訓練内容は、どちらかという地震や大火などの広域的な災害に主眼をおいたもので、幸いにも実戦で使ったことはありませんが、今後発生することが予想されている南海トラフ地震等の災害に備えるために、今回受講した訓練は大変有意義で、有事の際に行動する場合、訓練として経験しておくことの大切さを改めて感じました。

## 切石おんべ警護

1月12日(日)に大袋グラウンドにて行われた切石地区のおんべにて警護活動を行いました。

早朝から行われた切石おんべですが、火災、けが等なく、無事終了しましたが、まだまだ空気が乾燥した季節が続きます。皆様もたき火を行う場合、



特に風が強い場合には別日での実施を考慮していただくなど、十分注意して実施していただければと思います。

## 出初式



1月13日(祝日)に、飯田文化会館にて飯田市消防出初式が開催されました。

今年の式典では、コロナ禍前までは例年実施していたパレードについては、引き続き実施されませんでした。昨年度は文化館内で実施されていた音楽隊の演奏、ラッパ吹奏及び木遣り・纏振り演舞は文化会館前の広場にて実施することができました。

来年度におかれましても多くの消防行事が行われることが予想され、地区の方々にも



ご協力いただく機会が多いかと思われま。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

## 年末警戒

毎年飯田市で一斉に実施している飯田市年末警戒を、今年も12月26日(木)から12月31日(火)に実施しました。

前半の26日から29日には、団員が消防詰所に集合した後、積載車にて広報活動を行い、有事に備えました。

後半の30日、31日は、各団員が自宅待機にて、有事の際に出動できるように準備を行いました。

幸い、県では年末の火事はありませんでしたが、現在の時期も火事が発生しやすくなっていますので、火元等に十分ご注意ください。

## 令和7年度 新幹部員

4月より以下の新体制ですタートします。県地区のために精一杯努めていく所存ですので、よろしく願います。( )は出身班

【分団長】

古瀬 俊明 (自動車班)

【副分団長】

田澤 智也 (東班)

【庶務部長】

松尾 裕太 (切石上班)

【消防部長】

今村 孝平 (自動車班)

【庶務班長】

林 亮介 (自動車班)

## 団員募集のお知らせ

### 消防団員募集

有事の際に活躍できる団員を募集しております。資格をとることもできます。(準中型免許、小型車両系建設機械など) 気になる方はお近くの消防団員、またはお近くの消防詰所までお気軽に声をかけてください。

電話

090-7247-2181

メール [aamnuakyat.ke-aloha@docomo.ne.jp](mailto:aamnuakyat.ke-aloha@docomo.ne.jp)

@docomo.ne.jp



### 健康講演会

地域健康福祉部会長  
(名古屋) 近藤 健

12月8日、鼎公民館にて健康講演会を開催し、35名の方に参加いただきました。

今年度は「血圧管理で健康寿命を延ばそう〜高血圧の予防と治療の重要性〜」と題して健和会病院・副院長の熊谷悦子先生にお話を伺いました。「戦後、日本では降圧治療の普及・塩分摂取量の減少により平均血圧が低下し脳血管死亡率が低下し寿命が延びている。まだまだ血圧を下げることで寿命を延ばすことは可能」、一方で「肥満・高コレステロール血症・糖尿病といった疾患の有病率が増加した結果、脳卒中罹患率の低下の程度はここ45年間鈍化しており、血圧の管理とともに、このような疾病をまとめてよくするこ



健康講演会

とが大事」。そして「禁煙、運動、などの生活習慣で血圧は下がるが、140以上になったら治療しましょう」とのお話が印象に残りました。

参加者からも、「高血圧に関心を持てた」「今後の生活に生かしていきたい」「家族にも聞いてほしい話でした」など好評でした。

飯田市は「高血圧」の人の割合が多い現状があり、飯田市健康増進計画の課題にもなっています。私も、これまで「それほど血圧は高くないから大丈夫」と思っていました。が、早くからの血圧管理が大切と痛感しました。



### 健康づくり教室

「身も心もリフレッシュ！」

切石支部長  
村澤博富美

11月17日、コロナ明け、久しぶりに「健康づくり教室」を開催しました。お集まりいただいた27人の皆さんが、楽しくカラダを動かし、会話も弾み、身も心もリフレッシュすることができました。

まず、保健師さんから、「フレイル予防で健康長寿」と題して、ロコモティブシンドロームなどの身体的問題や認知機能の低下などの精神的問題、閉じこもりなどの社会的問題について、フレイルの要因を分かりやすくご説明いただきました。

その後、健康運動指導士の小林先生から「フレイル予防体操」として、イスに座って誰でもできるストレッチや脳トレなど、負荷の少ない運動を教えていただき、しだいにカラダも温まり、水分補給をしながらのアツという間の一時間でした。

参加者に日頃の健康づくりの実践をお尋ねすると、朝の散歩、ジム通い、ウォーキン

グ、ラジオ体操、外出して人に会うなど、健康に留意し、工夫されているようでした。秋の深まりを感じる中、健康意識を高めるよい一日となりました。



切石 健康づくり教室

### 住民支え合いマップ

中平支部長  
桜井陽子

昨年1月1日の能登半島地震は、記憶に新しく未だ復興が進まず困難な生活を余儀なくされているとお聞きます。また、南海トラフ地震も心配されており、災害は我々にもいつ起こるか分からない状態で大変危惧しています。日頃から家族で安全確認方法等を話し合い、地域の防災訓練へ参加するなど「生き延びる」ために備えておくことが大切



中平 支え合いマップ更新作業

だと思えます。中平健康福祉委員会が作成している「支え合いマップ」は、災害時に避難等の支援が必要な方、またその支援を行う方を記載した地図で、毎年更新作業を行っています。まず、災害時安全確認対象者調査通知を組合回覧します。対象の方の要件は、「一人暮らしの方」「障害者のいる世帯」の中で、緊急時に、避難がままならず安全確認の声掛けが必要として本人から申し出があった方としていきます。また、民生委員さんが、組合加入・未加入に関わらず把握されている方も加えています。災害が起きた時、この「支え合いマップ」が活用され、早めの対応の役に立てればと思っています。

# 生活安全

## この一年を振り返って

委員長 下平 泰人

はじめに各地区支部長の皆様および市の担当の方、その他多くの人に助けていただき一年を終えることができそうです。皆様に感謝し御礼申し上げます。

当委員会の活動は、交通安全関連で人波ルート作戦、交通指導所の実施、保育園の交通安全教室への協力等を実施しました。防犯面では夏・冬の防犯パトロール、地区パトロール等を実施、防犯灯の修理等にも対応しました。また、各地区の春季、秋季のお祭り、公民館活動の文化祭や鼎駅伝大会、消防活動への協力等を行ってきました。また、委員長としては毎月の鼎地区まちづくり委員会区長・委員長会への出席、鼎地区まちづくり

委員会事業への参加、自主防災事業に参加し、地域のことを勉強させていただきました。活動を通じて、地域の一人ひとりが交通安全、防犯、防災等の地域の安全に対する意識をもってもらうにはどうしたらよいか、参加委員の都合をつけてもらった時間が有意義な時間として感じられる活動とは何かを考えさせられました。

新しい年度が始まります。より住みやすい鼎地区を目指し、生活安全を通じてまた一年頑張っていこうと思います。地域の活動には皆様の協力が何より必要です。引き続きよろしくお願いいたします。

最後に、鼎地区ではこの一年で2名の方が交通事故でお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。



## 年末の交通安全運動

東鼎支部長 村上 昇

年末の交通安全運動期間に合わせて、12月16日午前7時から東鼎交差点にて人波ルート作戦が行われました。

令和6年度の飯田警察署管内の交通事故発生件数、傷病者数は減っていますが、死者数が増加している状況となっております。東鼎、西鼎、下山、下茶屋、中平の43名が「飲酒運転撲滅」「ルールを守って安全運転」「早めのライト点灯」などと書かれたのぼり旗を掲げ、通勤時間帯にドライバーに交通マナーの実践と交通事故防止を呼びかけました。

また、交通指導所も実施し、ドライバーに安全運転を呼びかけることができました。



## 夏・冬の防犯パトロールを実施して

下山支部長 原 典雄

下山支部の生活安全委員は8名で、2班に分かれて防犯パトロールを行っています。夏は8月24日に行い雨に降られ、冬は12月14日で風の強い日でした。防犯灯の点灯確認も含め、両日とも夜間に行いました。

1班は下山福祉センターから下山駅方面に向かい、2班は鼎駅方面に向かうルートで、通学路を中心に防犯灯が点灯しているか、歩道に危険場所がないか確認しました。コンビニにも立ち寄り駐車場等に異常がないか声掛けもしました。

日常生活で慣れている道や通学路などでも夜間は防犯

灯の明かりがなければ怖いと感じ、暗く危険な場所があれば防犯灯の設置が必要だと感じました。

夏のパトロールで防犯灯が3か所切れていて即直していただきました。それ以外防犯上危険な箇所等の問題点は見当たりませんでした。

年間、防犯パトロールの他にもいくつか活動があります。がどの活動も頑張っています。



## 電話でお金詐欺

### 前兆電話増えてます!

飯田市内の複数のお宅に、警察官をかたり「あなたが犯罪にかかわっている」という電話や、「電話が使えなくなる」という音声ガイダンスによる操作誘導の電話などがかかっています。

これは、詐欺の前兆電話です。不審な電話を受けた場合は、飯田警察署までご連絡ください。ご家族やご友人にも情報提供をお願いします。

飯田警察署

☎0265-22-0110





一年間を振り返り

委員長 森 貴

皆様には日頃から子どもの居場所づくり活動、登下校時の見守り活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

委員長として小中学校の行事への参加や子どもを育む委員会の事業等、多くの事を経験させていただきました。

4月には小学校で開催された子どもを育む委員・PTA役員紹介の会に参加させていただきました。コロナ禍が落ち着き通常どおりの活動ができるようになり、久々に全校児童が体育館に集まることのできたというのを校長先生から伺いました。びつくりしたと同時に嬉しく思いました。6月に実施した体験学習事業のサイエンスショーでは、委員長であるにも関わらず、

役目を忘れすっかり楽しんでしまいました。参加していただいた大人も子どもも楽しんでくださり嬉しかったです。中学生の皆さんには、ジュニアボランティアステーション

活動を通じて各地区で大変お世話になりました。「とても助かった」「またお願いしたい」との声が多数あり、ボランティアの重要性を実感することができました。今後とも一緒に

鼎を盛り上げていきたいと思います。コロナ禍を経験し、人と関わらないことが当たり前になつてしまつた昨今、地域との

コミュニケーションを見直す動きが活発になってきています。子ども達のために何ができるのか、委員会活動を通じて、子ども達の成長に貢献できるように取り組んでいきたいと思ひます。今後も皆様のご協力をお願いいたします。

山下 子ども達の成長を見守る

下山区での子ども達の活動を紹介します。

12月15日、冬休みを前にして「支部子ども会&クリスマス会」が開催されました。冬休みの過ごし方の注意点を、クイズ形式を取り入れる等して、低学年の子にも分かり易く印象に残るよう、工夫して行いました。

また、折り紙で「おんべ」の飾りつけを作りましたが、上級生が下級生に教える姿や、糊をつける人と貼り合わせる人が分かれて行うなど、協力して効率よく行おうとする姿が見られ、感心しました。

少し前になりますが、7月13日には、「魚のつかみ取り」を実施しました。区内の用水路(島田井)にニジマスを放流し、子ども達が手づかみで捕まえ、それを炭火で串焼きにして食べる、というものです。



歓声を上げながら、我先に捕まえようとすると、親と一緒に慣れない手つきで、上手に焼いて食べようとすると、子ども達の姿を見ることができ、



これからも色々な新しい体験をして、健やかで心豊かに育つて欲しいと願う一日でした。

切石 伝統の継承へ

記録によれば、売りに出されていた長屋を買い取り、勤労奉仕によって大正12年、切石共治会事務所が移転改築されました。4月14日に行われた開所式とその翌日に、壮年団は獅子舞を、青年会は囃子屋台を引き回して区内を練り歩いたとされています。

その後切石共治会は切石区へ、共治会事務所は切石公民館へ姿を変えてきました。切石公民館は、昭和45年に鼎町により切石児童館に建て替えられました。この児童館も県道工事のため、現在の切石会館へ移転しました。この百年間に地域は随分変

貌してきましたが、切石獅子舞は継承され、毎月一回伝承会が行われています。毎月第一金曜日の夜には、切石会館に「よいい」「あーお」など子ども達の元気の良い声が響きます。



天伯八幡神社の春季祭典には、春の訪れを喜び地域の平穏と人々の健勝を祈つて、親獅子と共に獅子子が切石区内を練り歩きます。次の百年もその次も伝統を継承していつて欲しいものです。



# 環境衛生

## 不法投棄 パトロール員を終えて

飯田市不法投棄パトロール員  
大鹿朋幸

令和5・6年度不法投棄パトロール員を担当し、環境衛生各支部長と事務局の協力を得て無事役割を果たすことができました。

パトロールを毎月2回実施して気が付いたことは、コロナ中でありマスクが多く道に落ちていたことや、車からのポイ捨てが目立ったことです。また、1か月以上オートバイが放置されていたこともあり、不法投棄防止対策として、



策として、支部ごと必要だと思ふ所にのぼり旗を設置して啓発を行いました。飯田市の美化を推進していくには、市民一人一人の意識向上が不可欠だと感じました。環境衛生委員会視察研修に2回参加しました。環境産業公園内にある(株)アース・グリーンマネジメント及びエコトピア飯田(株)を見学し、ペットボトルや新聞古紙の資源有効活用が循環型社会を創ることを学び、リサイクル活動の重要性を改めて認識させられました。飯田市最終処分場グリーンバレー千代では、実際にゴミの分別作業を行い分別の大変さと大切さを実感しました。

## 環境衛生活動 一年を終えて

東郷支部長 白木郁夫

環境衛生の活動では皆さまのご協力により無事一年を終えることができました。ありがとうございました。

数年前より飯田市には人手不足による外国人労働者の増加、リニア新幹線の工事関係者の流入及び観光客の増加が見られます。それと共に東県にも外国人労働者や県外の労働者が移住し、また観光客の往来も増えていきます。

これらの方に飯田市のごみ出しルールを理解していただくため東郷では、外国人の住民には英文の「ごみ・リサイクルカレンダー」を配布、ごみ集積所には「ごみ出しルール」の表示、ポイ捨ての多い場所には「ポイ捨て禁止」ののぼり旗を設置してきました。今後さらさらに移住者や観光客が増える見込みなので、飯田市全体で取り組んでいかないとけない課題だと考えます。一年の活動を通して感じたことは、県は全体的に皆さまの日々の努力のおかげでとてもきれいですが、残念ながら

集積所のルールを守らない人、道路沿いの河川や幹線道路の脇道にはポイ捨てや不法投棄が増えていきます。

ごみの無い県地区を実現するため、ごみ出しはルールを守り、ポイ捨てはしないようにご協力をお願いいたします。



## アルミ缶回収事業

県地区独自事業であるアルミ缶回収では、皆さまのご理解とご協力により昨年を上回る量のアルミ缶を回収することができました。ありがとうございます。

### ●令和6年度アルミ缶売上各地区配分金一覧●

年間売上金額 836,600円		
区名	収集袋数(袋)	配分金額(円)
下山	30	53,239
東郷	34	59,671
西郷	28	50,023
下茶屋	8	17,864
中平	13	25,904
上茶屋	30	53,239
切石	11	22,688
上山	121	199,563
一色	143	234,939
名古熊	9	19,470
県小学校寄付	-	50,000
県中学校寄付	-	50,000

※支給金額  
各 区…均等割額5,000円+袋数割額  
小中学校…各校50,000円



売上げの一部を図書カードとして県小・中学校へ贈呈しました!

ございました。来年度も引き続きご協力を願います。